

”Writing across the Borders: My Visionary Tokyo”
『越境する言葉、幻の東京』

東京に住み、日本について書き続けるのはなぜか。戦後史の闇の彼方に、どんな幻が見えるのか——
《最も重要な次世代作家のひとり》(英グラanta誌) デイヴィッド・ピースが、創作活動について縦横に語る。



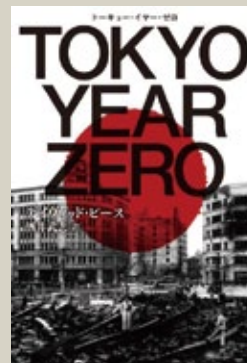
講師：作家
デイヴィッド・ピース氏

聞き手：文藝春秋編集者
永嶋 俊一郎氏
専修大学商学部准教授
小山 太一

日時：2012年**10月27日(土)**
15:00～17:00
講演後、質疑応答を予定

場所：専修大学**神田**キャンパス
1号館1F 102教室

刊行・写真提供：文藝春秋



戦後日本を舞台にした〈東京三部作〉第一部の「TOKYO YEAR ZERO」と、第二部で最新作の「占領都市」

※日本語の通訳が付きます

無料・参加自由

問い合わせ先：専修大学LL事務室

✉ lloffici@gkk.senshu-u.ac.jp